

ここ数年、全国各地にさまざまな個性を持った管理釣り場が誕生し、注目されています。ベテラン・フライフィッシャーが、それぞれの目的に合った楽しみ方で、充実したフライフィッシングを楽しめる良質な管理釣り場を、〈オトナの管理釣り場〉と呼ぼうと思います。

ひと昔前は管理釣り場といえばたくさん釣らせるだけの釣り堀でした。今はどうでしょう。そんなことを言ったら笑われませんか。私たちが暮らしている現代日本のマス釣り場は、この20年で大きく変化しました。じつは世界的に見ても、とてもユニークで興味深い状況にあります。その鍵が〈管理釣り場〉の進化です。

今号は管理釣り場のハード面（形態、施設、運営）に注目します。『フライの雑誌』取扱店が読者に推せんする全国各地の〈オトナの管理釣り場〉の紹介を軸に、オトナがうれしい管理釣り場の条件とは何か、これからの管理釣り場に求められる大切な要素とは何かを、読者の皆さんと一緒に考えてゆきたいと思います。

特集

# オトナの 管理釣り場